

支援便り



令和8年2月発行 第4号

串木野特別支援学校 支援部

今年度も残りわずかとなりました。一年間のまとめや次年度への引き継ぎに力を注いでいる時期かと思います。

本校支援部においても、「巡回相談等に関するアンケート」の結果をまとめさせていただきました。寄せられたご意見は、次年度の地域支援事業に活かせるように努めて参ります。

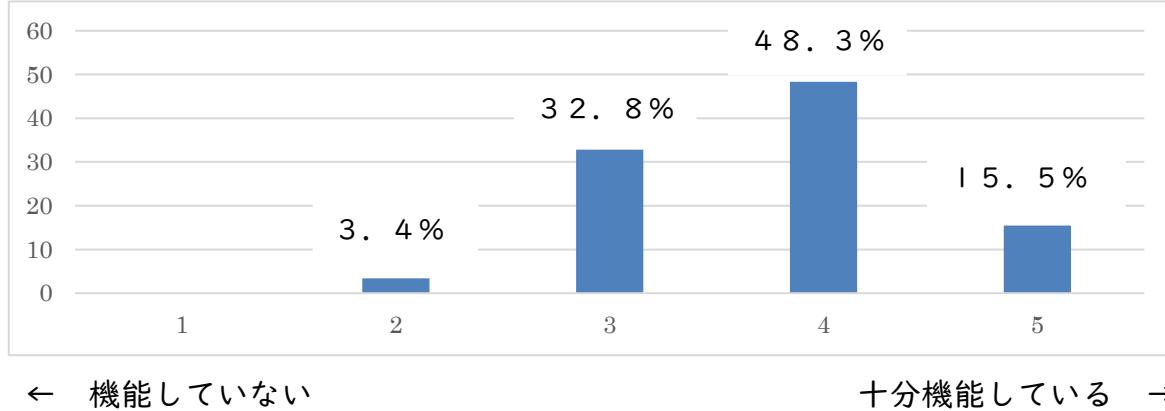
アンケートにご協力いただきました全ての園・学校の皆様に感謝申し上げます。

令和7年度 巡回相談等に関するアンケート結果

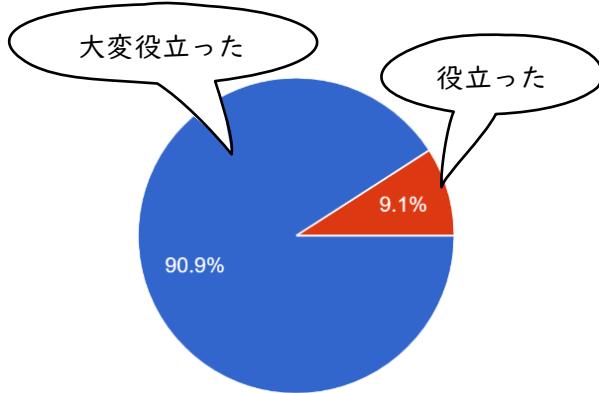
* 回答率 76%



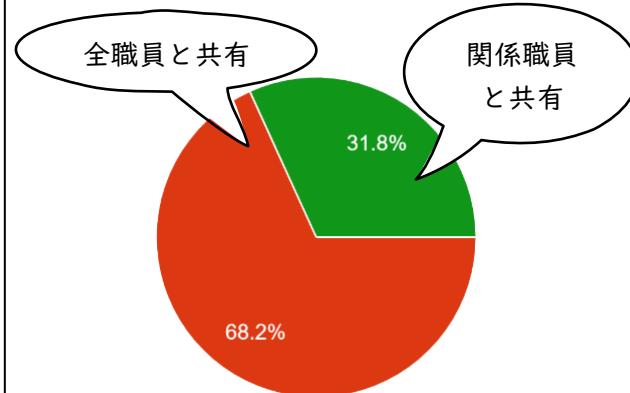
Q. 貴校（園）の特別支援教育における校内委員会はどの程度機能しているか



Q. 巡回相談や研修は役に立ったか



Q. 相談内容等は共有されているか

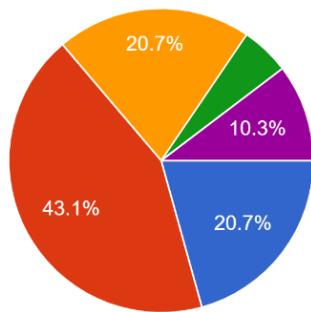


アンケートの結果、多くの園・学校が「校内委員会が機能している」と感じていることが分かりました。

校内委員会で、個別の配慮等を検討・実践した上で、巡回相談を依頼してくださる園・学校が増え、相談の充実にもつながっています。ありがとうございました。

相談・研修内容を全職員で共有している園・学校も年々増え、担任一人が抱え込むのではなく、学校（園）全体として支援にあたろうとしていることが分かります。

Q.オンライン相談を活用したいか



積極的に活用したい	20.7%
どちらかといえば	43.1%
活用しにくい	20.7%
活用したくない	5.2%
どちらでもない	10.3%

オンライン相談を「活用したい」とする理由の多くが、「巡回相談を実施した上で、少しでも相談の回数が増えるのであれば」というものでした。

「対面の方が話しやすい」「学校全体の支援体制なども見てほしい」「オンラインでは子どもの実態が伝わりにくい」など、対面での相談を望む声や、オンライン相談への不安が多く寄せられました。

相談内容によって、または2回目以降の相談で、オンライン相談や来校相談を検討していただければと思います。

「もっと気軽に相談したい」というご意見もいただきました。本校では、電話相談も行っています。日常的な相談窓口として、お気軽に電話ください。



Q. 特別支援教育推進における課題を教えてください



全校種に共通する最も多かった課題が、「マンパワーと時間の不足」でした。

「通常の学級に支援が必要な児童が増えているのに、支援員が足りない。」「人的支援が必要な生徒が多く、支援が行き届かない」「研修の時間が足りない」「効果的な支援を一つ一つ考えるだけの時間がまづない」など切実な意見が多数寄せられました。

一方、「校内支援体制を柔軟に見直し、支援を要する児童の取り出し支援をしている。」「毎週1回、児童理解の場を設け、気になることなどを話し合っている」など、前向きな取組も寄せられました。

今後も、限られた人員と時間の中でできる工夫や、更なる校内支援体制の強化を、一緒に考えさせていただければと思います。

お忙しい先生方も、まずはここから……、 お役立ち資料 検索



★ 就学前の子どもさんを支援する先生方

「幼稚園・保育所・認定こども園における特別支援教育の充実」 令和7年7月 鹿児島県教育委員会

(ダウンロード&印刷して園に一冊。困ったときに頼りになります。)



★ 小・中学校の先生方

「学びの場の変更に係る「段階的な検討のプロセス」の手引き」 令和6年1月 鹿児島県教育委員会

(資料集やQRコードも役立ちます。)



★ 高等学校の先生方

「高等学校用特別支援教育パッケージ」

令和5年3月 鹿児島県総合教育センター

(そのまま使える「口述付きプレゼン資料」や「各種チェックリスト」など、即活用可能。)



「巡回相談後、子どもたちが少しずつ変わり、何より担任の表情が明るくなった」など、うれしい感想を多数いただきました。
先生方を後押しできるような、互いに元気が出るような相談や研修を目指します。今後ともよろしくお願ひいたします。

